

## みんなで考えよう 災害対策 ―要援護者の防災・減災― に参加して

荒井 創

明星大学 人文学部 福祉実践学科

### 1. はじめに

11月16、17日に、第45回八王子いちよう祭りが行われました。その中のイベントの一つとして「みんなで考えよう 災害対策」がイーアス高尾で開催されました。実際に使われている昇降機や福祉用具などの展示があるということなので、自分自身にとって貴重なことを学べる機会だと思い、参加しました。

そこでは災害時に使えるステアチェア（階段昇降機）やJINRIKI（着脱式の車椅子用緊急避難装置）などが展示されていました。その展示物を見て、私は次のようなことを考えました。もしも災害が発生した時、障害により行動が制限されている人たちはどのようにして安全を確保し、避難先に移動することができるのだろうかと考えました。また、エレベーターが故障した時に車椅子を利用している方はどうやって階段を降りるかなど、私には想像が付きませんでした。

### 2. ステアチェア（階段昇降機）について

ステアチェアは、高齢者や足腰に弱い方のために使える昇降機です。利用者を運ぶ時に体に巻いて人を支えるベルトが3つあり、安全性が高い。実際に動かしているのを見ると、急な階段でも安定して昇降機が動き、これなら災害時に有効に使われると思いました。

### 3. JINRIKIについて

JINRIKIは、砂利道や積雪、ぬかるみなど、車椅子だと極めて動きにくい路面状況でも、前輪を持



図1 ステアチェア



図2 JINRIKI

ち上げて引っ張ることでスムーズに移動できる道具です。利用者の足元付近の車椅子フレームにけん引するためのバーを取り付けて、人力車のように前に進むことができ、バーを取り外し普段の車椅子としても使えるものです。これなら手動や電動の車椅子だけでは難しい道もJINRIKIを取り付けるだけで簡単に移動できるというのはとても優れたものだなと思います、展示物の中で最も印象に残りました。

### 4. おわりに

展示会を通して、災害が起こった時に自分たちは、自ら行動して避難することができますが、歩行をできない方や高齢者の方は避難先に移動することが困難だと思います。またマンションなどの高層住宅に住んでいる高齢者や足腰に障害のある方たちはエレベーターが使えない状況で階段での移動を求められた場合に困ってしまいます。そのような際に使える昇降機や着脱式の緊急避難装置を使うことで、取り残されずに避難できることで救える命が必ずあると思います。こういった器具や装置があることを私は知り、福祉の大切な使命を改めて強く心にもちました。災害はいつ起きるか分からないので多くの方に知って欲しいと願います。

明星大学 人文学部 福祉実践学科

〒191-8506 東京都日野市程久保 2-1-1